

## 第1回 SSN-WG3 交流会：「高精度時刻の社会実装の意義と課題」

### 開催案内

- 場所： 一般財団法人マイクロマシンセンター 会議室  
〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸 67 MBR99 ビル 6 階  
(地図：<http://www.mmc.or.jp/gaiyou/map/>)
- 日時： 2019年8月5日(月) 14:00~16:55 (意見交換会 ~18:00)
- 参加費： 無料
- 主催： 一般財団法人マイクロマシンセンターMEMS協議会 SSN-WG3

平素より当センターの諸活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。当センターでは、次世代技術の社会実装支援を目的に、スマートセンシング&ネットワーク研究会などの活動(SSN-WG)を展開しております。本交流会を企画したSSN-WG3は、NEDO社会インフラプロジェクトの中で、原子時計の精度(10ms@30ヵ月)とモバイル機器の消費電力(60mW)を両立させた小型原子時計を開発したメンバーを中心に活動しており、更なる原子時計の高度化に向けたプロジェクトの立案などを進めております。

この度SSN-WG3では、小型原子時計が社会実装された時に、どのような社会変革が起きるかを議論する場として、この交流会を企画いたしました。この企画の出発点は、原子時計の国際市場が3年ほど前より年率7%以上の成長を続けているにも関わらず、国内での動きが見えてこないことへの素朴な疑問にあります。海外では、第五世代移動体通信(5G)だけでなくフィンテックやクラウドなど高度情報社会の発展により原子時計のニーズが増えておりますが、日本は生産と消費の両面で欧米や中国と比較して存在感がありません。技術的に劣っていないはずの日本で、国産の原子時計が市販されておらず、市場も育っていない理由を探ることは、これからの高度情報社会を考える上、参考になるものと考えております。

第一回の交流会では、国内外での小型原子時計の最新技術動向と、その海外での活用状況について情報を共有すべく、原子時計の研究開発者と、高精度な時刻へのソリューションを提供されている企業にご講演をお願いしております。ここでの議論が、高精度時刻の運用における海外と国内の違いなどの情報を共有し、5Gなどで変わりゆく社会を支える高精度時刻ネットワークの高度化を考える上での一助になればと考えております。

5GやLPWAにより、本格的なIoTの活用が始まるであろう高度情報社会において、それにかかわる事業や技術開発に取り組まれている多くの方にご参加頂きたく、貴社・貴団体のご関係部署の方々に広くご案内頂ければ幸いです。皆様からのご参加お申込みを心待ちしております。

### プログラム

#### 【開会の挨拶】

14:00-14:05 主催者挨拶 (財)マイクロマシンセンター 専務理事 長谷川 英一

#### 【ご講演】

14:05-15:05 「小型原子時計の最新技術動向」  
公立大学法人首都大学東京 准教授 五箇 繁善

15:05-15:55 「高度情報社会を支える東陽テクニカの時刻同期ソリューション  
ー GNSS に依存しない時刻同期運用を考える ー」  
株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部 徳道 宏昭

===== 休憩 15:55-16:05 =====

16:05-16:55 「センサ端末同期用原子時計の研究開発 (NEDO 委託研成果報告)」  
国立研究開発法人産業技術総合研究所 計量標準総合センター  
物理計測標準研究部門 高周波標準研究グループ 柳町 真也

===== 休憩 16:55-17:05 =====

**【意見交換会】**

17:05-18:00

(\*プログラムはやむを得ず変更になる場合がございますのでご了承下さい。)

■定員： 40名

■参加申込： 産業交流部 小出 ([a\\_koide@mmc.or.jp](mailto:a_koide@mmc.or.jp)) までメールにて

1) ご所属

2) お名前

3) 意見交換会へのご出欠

をお送りください。受付番号を返信いたしますので、その番号を受け取ることで、お申込み完了といたします。

-----  
お問合せ:

一般財団法人マイクロマシンセンター

MEMS 協議会 SSN-WG3 担当

産業交流部 小出

事務局 E-mail: [a\\_koide@mmc.or.jp](mailto:a_koide@mmc.or.jp)

Tel: 03-5835-1870 <http://www.mmc.or.jp/>